

## 6. 認知症の人への望ましい接し方

### ①基本の3原則



### ②具体的な対応の7つのポイント

- ・まずは見守りましょう。
- ・余裕を持って対応しましょう。
- ・声をかける時は1人で話しましょう。
- ・後ろから声をかけないようにしましょう。
- ・相手に視線を合わせて、やさしい口調で話しましょう。
- ・おだやかに、はっきりした話し方で話しましょう。
- ・相手の言葉に耳を傾けて、ゆっくり対応しましょう。



### ③症状別の望ましい対応

※以下の症状には、すべてにご本人なりの理由があります。

#### 物盗られ妄想 **「あなた私の財布盗んでしょ！」**

現実には起きていないことを信じて疑わないことが「妄想」です。

- ・怒ったり否定せず、ご本人の不安な気持ちに耳を傾ける。
- ・一緒に探し、ご本人が見つげられるよう導く。
- ・ご本人がしまい込みそうな場所を把握しておく。



#### 徘徊

当てもなく歩き回るのが「徘徊」です。無理に引き留めるのではなく、安心できるような説明をしましょう。

- ・外出に気づいたら一緒に歩き、ご本人が落ち着くのを待ち帰宅。
- ・衣服の裏などに名前や連絡先を記入しておく。
- ・ご本人がよく行く場所、ルートを事前に把握しておく。
- ・稚内市認知症高齢者等見守り・SOSネットワークに登録する。



#### 食べたことを忘れる **「夕飯はまだ?朝から何も食べてない!!」**

最近のことが覚えられず、訴えを繰り返します。

「さっき食べたでしょ!」と否定すると、さらに興奮してしまいます。

- ・お茶を出すなどして気分転換を図る。
- ・ご本人の興味がある話をして、意識を違う方向に向ける。
- ・「今、準備しますから」と低カロリーのお菓子等を用意しておく。

